

平成23年度高岡市民病院事業会計当初予算（案）の概要 ～第Ⅲ期中期経営計画（3年目）の着実な実行による収益確保を目指して～

予算規模

(単位：千円)

	事業収益		事業費用	
	当初予算額	前年度予算比	当初予算額	前年度予算比
平成23年度	9,233,268	1.1%	9,837,672	1.8%
平成22年度	9,131,320	1.0%	9,664,432	△0.5%
平成21年度	9,037,631	1.4%	9,715,655	0.4%
平成20年度	8,908,474	0.03%	9,678,048	1.4%
平成19年度	8,905,645	2.6%	9,541,595	△0.6%

収益勘定（3条収支）

【収益】

1 医業収益

(1) 入院収益

- ① 入院基本料「7：1」看護体制の維持
- ② 診療単価は、DPC適用病院（21年4月から）としての実績と出来高算定検査等の診療行為の充実を図ることで見込む。また、引き続き22年4月の診療報酬改定に伴う新たな加算取得による単価増を目指す。
- ③ 地域がん診療連携拠点病院、急性期医療を担う病院として重症度の高い手術件数の増に努めることで単価増を見込む。
- ④ 地域連携の推進による収益確保（紹介・逆紹介率の増を見込む）

	患者数(1日平均)	診療単価(1人あたり)	備考
平成23年度当初	395人	40,800円	一般325+退院25+精神45
平成22年度決算見込み	378人	41,000円	H22年12月末見込み
平成22年度当初	395人	40,000円	一般325+退院25+精神45

(2) 外来収益

- ① 地域連携の推進により、紹介患者・逆紹介患者の増を図ることにより患者を確保する。
- ② 診療単価は、DPC適用病院として、術前検査等を入院から外来へシフトするとともに検査等の診療行為の充実を図ることで前年同額を見込む。

【費用】

1 医業費用

(1) 給与費

- ① 臨時・非常勤医師・研修医の確保等、経営改善に資するよう効率的な人員配置等に努める。
- ② 法定福利費は共済組合負担率のアップ等による影響を見込んだ。

(2) 材料費

- ① 材料費は、入院・外来収益の約24%を計上した。
- ② 薬品費は、同種同効薬品の整理と廉価購入の促進、自治体病院での共同購入、ジェネリック医薬品の採用推進等により費用の抑制に努める。

(3) 経費

- ① 燃料費
A重油、ガソリン単価の値上がりによる増
- ② 修繕費
 - ・施設設備等の計画的な修繕（23年度から3カ年計画）全体計画額 1億4,800万円
うちH23修繕箇所 制御装置修繕、冷却塔修繕など 4,000万円
 - ・環境対策に伴う修繕
N蒸気バルブ周りの保温化修繕 350万円
N電球のLED化導入工事（一部） 50万円
- ③ 賃借料
 - ・臨床研修医の確保策として、「医学生のための臨床研修プログラム合同セミナー」へ参加（東京、N大阪、金沢でのブース借上料） 68万円
 - ・N陰圧創傷治療システムの導入に伴う賃借料 277万円
- ④ 委託料
 - ・医療機器保守業務（H21年度更新機器の無償保守期間終了に伴う保守料の発生）
 - ・N外来駐車場システム導入に係る調査委託 30万円
- ⑤ 諸会費
医師、看護師及び医療技術職員の確保及び資質向上支援対策に係る各種学会負担金
 - ・医師の研修会、学会参加費
 - ・認定看護師の育成支援・資格更新に係る負担金
- ⑥ N市民病院開設60周年記念事業

(4) 研究研修費

- 医師、看護師及び医療技術職員の確保及び資質向上支援対策に係る旅費等
- ・医師の研修会、学会参加旅費
 - ・認定看護師の育成支援・資格更新に係る旅費
 - ・N助産師の養成

資本勘定（4条収支）

通常の医療機械器具購入費5,500万円、**改築時等に購入した高度医療機器の更新 3億円**
(21年度から4カ年計画)

【主な内訳】

- ・生化学自動分析装置、マルチスライスCT撮影装置、体外衝撃波結石破碎装置、ホルミウム・ヤグレーザー装置、X線骨密度測定装置

[戻る](#)